

# 株式会社 堀場製作所

## 2019年12月期 決算説明会

代表取締役会長兼グループCEO 堀場 厚  
代表取締役社長 足立 正之

2020年2月17日

# 説明内容

- 2019年12月期 決算概要
- 2020年12月期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- MLMAP2023進捗
- 株主還元
- その他トピックス

※本プレゼンテーションにおける2015年の実績は、2016年に変更した収益認識基準に遡及適用後の値を記載しております。

## < 免責事項 >

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

# 説明内容

- **2019年12月期 決算概要**
- 2020年12月期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- MLMAP2023進捗
- 株主還元
- その他トピックス

# 2019年の振り返り

## 外部環境

- ◆ 保護主義の台頭(米中貿易摩擦・日韓関係)
- ◆ 英国EU離脱決定
- ◆ 半導体設備投資調整による低迷
- ◆ 自動車の電動化対応投資加速、排ガス規制の世界的な強化

## 内部状況

- ◆ 中長期経営計画「MLMAP2023」策定
- ◆ グローバルでの継続した拠点強化
- ◆ 積極的な新製品上市
- ◆ 健康経営銘柄・なでしこ銘柄に初選定

# 2019年12月期 決算概要

## 半導体セグメントの販売減少により前年比で減収減益

### P&L

- ◆半導体は市況の影響により大きく減収減益
- ◆自動車は販売地域構成の変化などにより増収も減益

### B/S

- ◆総資産は、社債発行による現預金増などにより+377億円の3,151億円
- ◆自己資本比率は54.3% (▲3.9p) (2018年12月末比)

### CF

- ◆利益計上などにより、営業CF: +266億円
  - ◆設備投資などにより、投資CF: ▲123億円
  - ◆社債の発行などにより、財務CF: +192億円
- } フリーCF: +142億円

# 2019年12月期 連結実績

(単位:億円)

	2018年		2019年		
	実績	前回予想 (11/11)	実績	VS 前年	VS 前回予想
売上高	2,105	2,070	2,002	▲ 103	▲ 67
営業利益	288	230	209	▲ 79	▲ 20
営業利益率	13.7%	11.1%	10.4%	▲ 3.3p	▲ 0.7p
経常利益	283	225	205	▲ 77	▲ 19
親会社株主に帰属 する当期純利益	223	160	154	▲ 68	▲ 5
USD(円)	110.44	110.00	109.03	▲ 1.41	▲ 0.97
ユーロ(円)	130.35	122.00	122.03	▲ 8.32	+0.03

# 2019年12月期 連結実績(セグメント別)

(単位:億円)

	売上高					営業利益				
	2018年	2019年				2018年	2019年			
	実績	前回 予想 (11/11)	実績	VS 前年	VS 前回 予想	実績	前回 予想 (11/11)	実績	VS 前年	VS 前回 予想
★: 過去最高										
自動車	796	830	★ 810	+13	▲19	77	70	64	▲12	▲5
環境	193	200	★ 195	+1	▲4	20	20	16	▲3	▲3
医用	260	260	253	▲6	▲6	18	15	13	▲5	▲1
半導体	577	500	471	▲105	▲28	170	120	107	▲63	▲12
科学	277	280	271	▲5	▲8	2	5	7	+5	+2
合計	2,105	2,070	2,002	▲103	▲67	288	230	209	▲79	▲20

# 説明内容

- 2019年12月期 決算概要
- **2020年12月期 業績予想**
- セグメント別詳細説明
- MLMAP2023進捗
- 株主還元
- その他トピックス

# 2020年市場環境の想定

自動車		<p>アジアを中心とした排ガス規制強化 自動車関連メーカーの電動化・自動運転技術の開発投資加速</p>
環境		<p>新興国での環境規制強化による需要増 石油産業の投資回復</p>
医用		<p>国内:開業医市場の需要は堅調 海外:新興国を中心に血液検査需要拡大</p>
半導体		<p>半導体メーカーの設備投資が回復傾向へ 中長期視点での半導体需要は底堅い</p>
科学		<p>企業の研究開発投資は旺盛 二次電池などで使用される新素材研究加速</p>
全般		<p>【COVID-19(新型コロナウイルス)に関する影響】 生産やサプライチェーンへの影響は現時点では限定的 自動車・半導体産業の生産減退による影響は懸念</p>

# 2020年想定為替レート

(単位:円)

	2018年	2019年	2020年	
	実績	実績	予想	VS 前年
<b>USD</b>	110.44	109.03	110.00	+ 0.97
<b>EUR</b>	130.35	122.03	120.00	▲ 2.03

2020年予想: 1円円高による営業利益へのインパクト(通期)

USD ▲2.1億円

EUR ▲0.2億円

# 2020年12月期 業績予想

(単位:億円)

	2018年	2019年	2020年	
	実績	実績	予想	VS 前年
★: 過去最高				
売上高	2,105	2,002	★ 2,150	+147
営業利益	288	209	250	+40
営業利益率	13.7%	10.4%	11.6%	+1.2p
経常利益	283	205	245	+39
親会社株主に帰属 する当期純利益	223	154	175	+20
一株利益(円)	529	367	414	+47
ROE	14.3%	9.3%	9.9%	+0.6p

# 2020年12月期 業績予想(セグメント別)

(単位:億円)

	売上高			営業利益		
	2019年 実績	2020年 予想	vs 前年	2019年 実績	2020年 予想	vs 前年
★: 過去最高						
自動車	810	★ 850	+39	64	75	+10
環境	195	★ 215	+19	16	15	▲1
医用	253	270	+16	13	15	+1
半導体	471	525	+53	107	135	+27
科学	271	★ 290	+18	7	10	+2
合計	2,002	★ 2,150	+147	209	250	+40

# 説明内容

- 2019年12月期 決算概要
- 2020年12月期 業績予想
- **セグメント別詳細説明**
- MLMAP2023進捗
- 株主還元
- その他トピックス

# 2019年実績 / 2020年予想

(単位:億円)

## 2019年実績

【排ガス】 新規制導入に向けてアジアを中心に需要増

【MCT※1】 燃料電池試験装置の需要増

【ECT※2】 次世代自動車開発分野でのビジネス拡大  
費用は増加

※1 Mechatronics (自動車計測機器)

※2 Engineering Consultancy & Testing  
(自動車開発全般に関するエンジニアリング・試験)

## 2019年新製品: 車両開発用運転ロボット



- ✓ シャシダイナモ上での走行試験を自動化
- ✓ 高い再現性で排ガス試験の自動化を実現

車両開発の高効率化に寄与

## 2020年予想

【排ガス】 アジアでの販売堅調  
競争力強化に向けた研究開発などで費用増加

【MCT】 自動車関連メーカーの電動化車両への  
投資加速により販売増

【ECT】 ビジネス拡大により収益性を改善

## 売上高・営業利益推移



# 2019年実績 / 2020年予想

(単位:億円)

## 2019年実績

### 【煙道排ガス・大気】

日本の煙道排ガスの販売は堅調

欧州の大気モニタリング需要拡大

アジアは前年度大型案件の反動減

### 【水質】日本・アジアでのビジネス拡大により販売増

## 2020年予想

### 【煙道排ガス・大気】

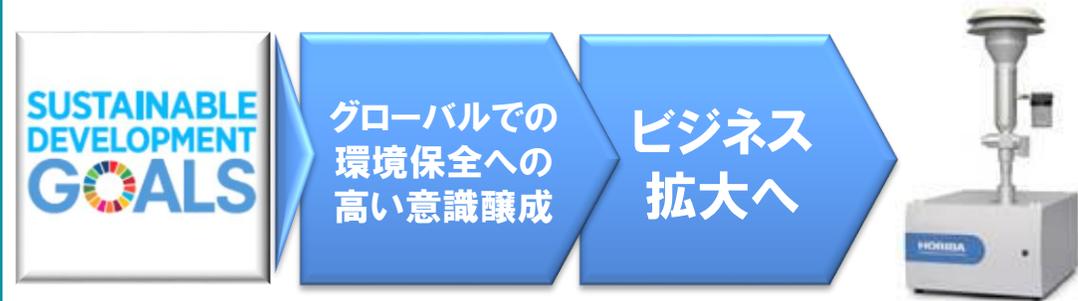
アジアでの環境規制強化に好機

### 【プロセス計測設備】顧客の投資回復へ期待

### 【水質】船舶向け水質モニター堅調

## 2019年トピックス: JICAのSDGs支援事業に採択

- ✓ モロッコでの、PM2.5自動成分分析装置および大気モニタリングシステム導入に向けた事業



## 売上高・営業利益推移



# 2019年実績 / 2020年予想

(単位:億円)

## 2019年実績

- 新興国でのビジネス拡大
- 日本における新製品販売強化
- ユーロ安による欧州向け売上円換算額の減少に加え、費用が増加

## 2019年新製品: Yumizen M100 Banalyst

- ✓ 微量の血液で糖尿病や感染症のスクリーニングに役立つ
- ✓ 主に一般内科や小児科などで活用



- ・ ローム株式会社から継承したμTAS技術
- ・ POCT※でトップクラスの測定精度



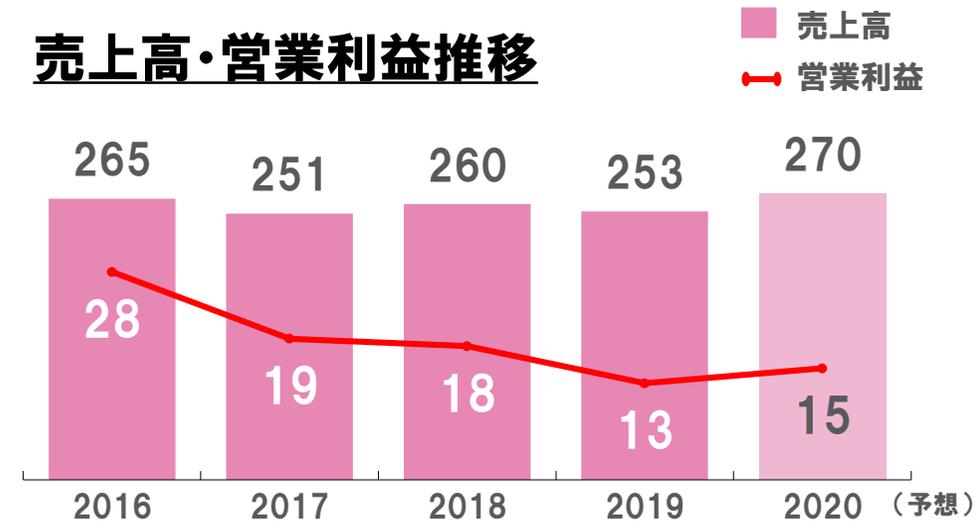
液状試薬が入った使い捨てのチップ

※Point of Care Testing 被検者の傍らで医療従事者が行う検査

## 2020年予想

- 製品ラインアップの拡充により販売増をめざす
- 新興国での需要増によるビジネス拡大
- シーメンスへの製品供給開始も、費用は増加傾向

## 売上高・営業利益推移



# 2019年実績 / 2020年予想

(単位:億円)

## 2019年実績

- 売上高・営業利益ともに前年の反動減
- 半導体メーカーの投資は年後半より回復傾向へ

## 2020年予想

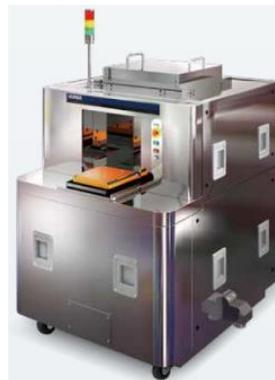
- 半導体メーカーの投資は回復へ向かい、販売増加へ
- 世界情勢による景気の動向が懸念

## 2019年トピックス:微細化・多層化プロセスへの貢献

～微細化プロセス・EUV対応～

【ペリクル異物検査装置】

- ✓ レティクルのペリクル面異物検査



PR-PD3EP

～多層化プロセス・3D-NAND対応～

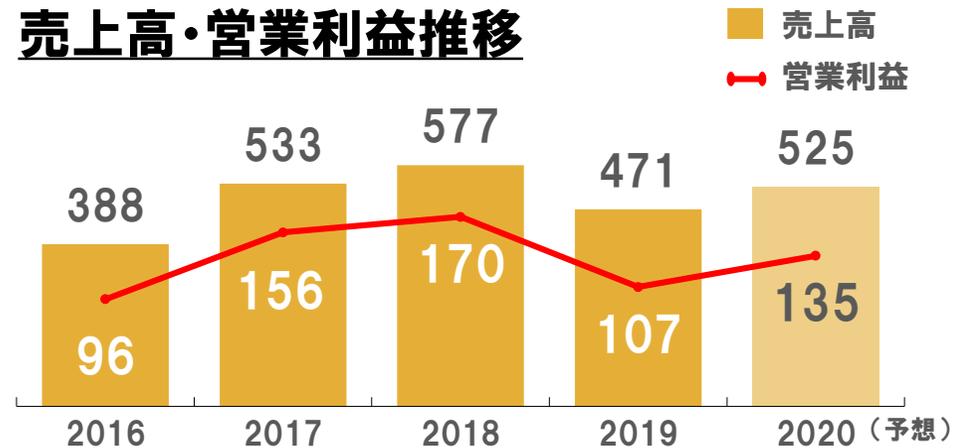
【熱リン酸濃度モニター】

- ✓ エッチングでのリン酸濃度モニタリング
- ✓ 高温溶液濃度を直接計測・コンタミレス



CS-620F

## 売上高・営業利益推移



# 2019年実績 / 2020年予想

(単位:億円)

## 2019年実績

- 景気減速などからアジアでの販売減少
- 顧客ニーズに合わせた高付加価値製品の販売が拡大、収益性向上

## 2020年予想

- アジアの需要回復に期待
- 顧客ニーズに合わせた製品の成功事例を標準化し、収益性を向上
- セグメント間のシナジーを活かし、新たな市場獲得をめざす

## 2019年新製品:LAQUA

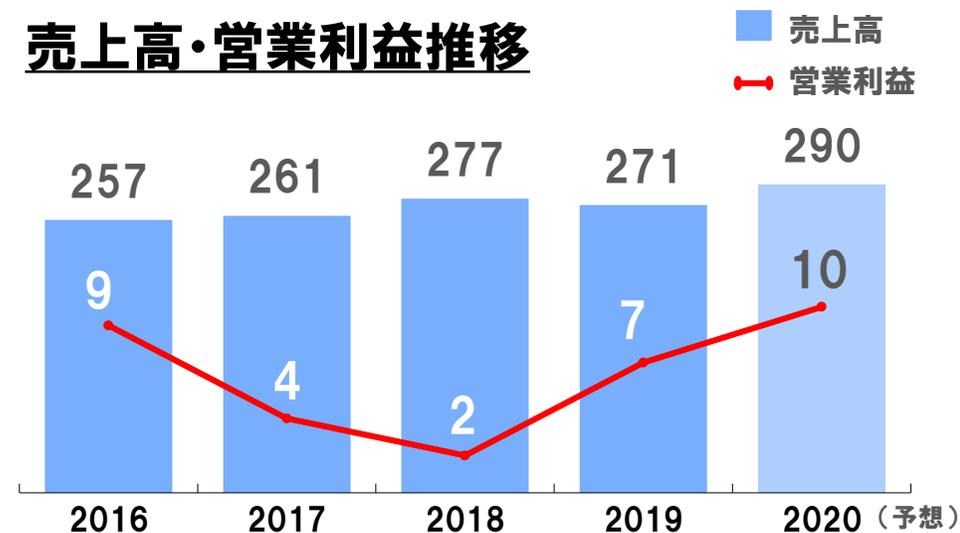
- ✓ 国内外のフィールドで水分析に携わる方の声を収集
- ✓ グローバルマーケットに向けたポータブルpH・水質計



左:D-200 / 右:WQ-300

海外市場でのシェア拡大実現

## 売上高・営業利益推移



# 説明内容

- 2019年12月期 決算概要
- 2020年12月期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- **MLMAP2023進捗**
- 株主還元
- その他トピックス

# 「MLMAP2023」の重点施策

## MLMAP2023 スローガン 「ONE STAGE AHEAD」

### 1. Market Oriented Business

- ✓ メガトレンドをリードする3フィールドに、コア技術をフル活用した分析・計測ソリューションを展開

### 2. Solution Provider Beyond Life Cycle Management

- ✓ 製品導入からリプレイスまで、全方位でお客様のコアビジネスをサポート

### 3. HORIBA Core Values “The Next Stage of Super Dream Team”

- ✓ 事業活動推進の原動力となる「強い人財」を作る組織体制
  - ブラックジャックプロジェクト／ステンドグラスプロジェクト／HORIBA Premium Value

# 電動化領域でのビジネス加速



## 電動化車両の世界的な開発需要の拡大

### 燃料電池パワートレンシステム評価領域を強化



ホリバ・  
フューエルコン社の  
技術

MCTビジネス

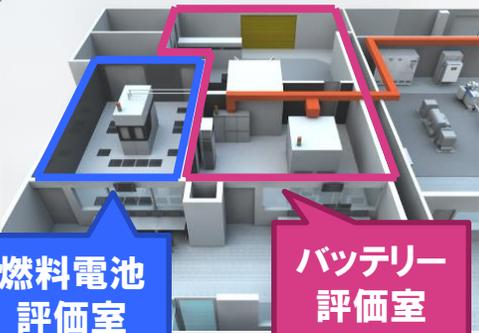
### 需要に対応する生産体制の確立へ

### ホリバ・フューエルコン社 新社屋建設へ



ドイツ・マグデブルグに建設(完成予想図)  
2021年末完成予定／総工費:約35億円

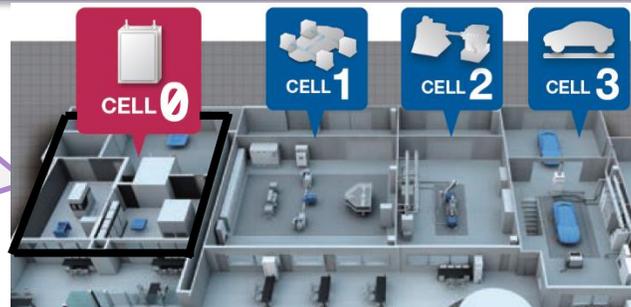
### 電動化車両バッテリー評価試験設備「CELL 0」開設



燃料電池  
評価室

バッテリー  
評価室

電動化車両や  
燃料電池の評価で活躍



- CELL 0～CELL 3の連動が可能
- ◆ トータル評価システム「Test in the Loop」
- ◆ 新たな価値を持つ計測ソリューションを提供

生産能力を拡大  
戦略的な施設仕様で納期短縮  
**電動化ビジネス加速の主要拠点へ**

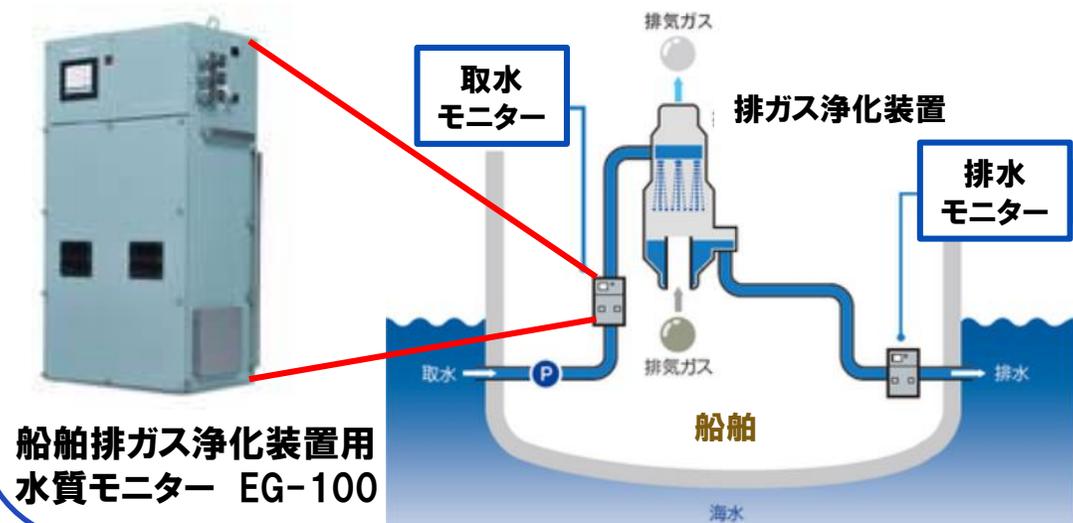
# 環境規制対策ニーズの高まり



## 【水質計測】船舶排ガス浄化装置用水質モニター

船舶を対象とした排ガス規制強化 (SOx規制)

排ガス浄化装置の取水と排水をモニタリング



## 【ガス計測】大気汚染モニタリング

PM2.5をはじめとした大気汚染問題はグローバルでの共通課題

大気汚染源を特定  
発生メカニズムを解明



迅速かつ適切な是正措置へ

【米国】  
✓ 車両にPX-375を搭載  
複数地点で大気計測を実施



PM2.5自動成分分析装置 PX-375

### グローバルに広がる環境規制に対応

# 半導体製造プロセス全域に貢献



豊富な製品ラインアップでトータルの半導体製造プロセスに貢献

※製品は一例

## 材料評価

## 製造工程

## 品質管理/排水処理

Materials Analysis

Device Analysis

Lithography

Dry Process

Wet Process

Utility/Wastewater



ラマン分光分析装置



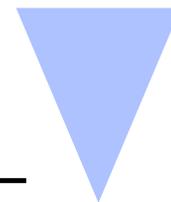
カソードルミネッセンス測定システム



異物検査装置/異物除去装置



エンドポイントモニター



pHメーター



現場形工業用水質計

## 超薄型マスフローコントローラー(MFC)

半導体の微細化・高集積により、チャンバーに多様なガス流量条件が必要

チャンバー1台に搭載するMFCは増加

ガスボックスのサイズは限定的



従来の1/3サイズ  
超薄型マスフローコントローラー「DZ-100」

## 新型 薬液濃度モニター

薬液処理プロセスでの薬液漏れなどが課題



非接触測定可能  
薬液濃度モニター「CS-900」

薬液が通る配管にセンサーユニットを被せるのみで測定可能

薬液漏れや異物混入の要因を排除

# 医用事業：生産拠点の拡充・整備



## 日本

堀場エステック・阿蘇工場  
生産ラインを改修

グローバル標準対応を強化



## フランス

ホリバABX社に  
隣接する土地を購入

- ✓ 生産・保管・物流拠点として整備
- ✓ シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス社とのパートナー契約による増産に対応



## 新興国

拡大する医用ビジネスへ対応

### インド・中国

- ✓ 試薬供給体制の強化
- ✓ 現地生産体制増強



注力市場でのビジネス拡大に向けて、グローバルで体制を強化

# ライフサイエンス研究に貢献



## ライフサイエンス向け分析装置

### 透過型ラマン分光分析装置



- ✓ 錠剤中の薬効成分定量分析  
⇒パーキンソン病治療薬の分析

### 顕微レーザーラマン分光測定装置



LabRAM HR Evolution

- ✓ ラベルフリーでの細胞状態分析  
⇒ES細胞・iPS細胞などの分化状態評価

### ナノ粒子径分布・濃度測定装置



ViewSizer™ 3000

- ✓ エクソソーム※の粒子径分布分析  
※さまざまな細胞から分泌される直径50-150nmの顆粒状物質

### 蛍光吸光分光装置



DUETTA

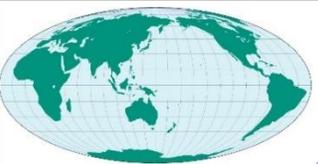
- ✓ 分子間相互作用分析
- ✓ 吸光と蛍光の同時測定  
⇒ワクチンの品質管理に有用！

## 2020年 堀場雅夫賞



【テーマ】  
ライフサイエンス分野の分光分析・計測技術

先端の創薬・製薬分野の  
技術開発を支援



# ソリューション提案ビジネスへの転換のために

**Always with You**  
お客様に常に寄り添い、全方位でサポート



完成予想図

京都・本社敷地内に建設  
2020年11月完成予定  
総工費：約38億円

## 掘場テクノサービス 新社屋建設開始

- ✓ 各機能の集約による、情報の収集/発信能力強化
- ✓ 分析ラボや校正/メンテナンス設備、研修スペースなどの拡充

MLMAP2023

稼働データを使用した  
メンテナンスサービス

計測データを活用した  
コンサルティング

機器販売と高付加価値サポートの融合

分析技術をベースに、データやソリューションを提供する新たなビジネスの創造をめざす



# 中国新拠点の建設開始

## 各事業の強みと、開発・生産・サービス機能を融合

完成予想図



中国上海市嘉定区に建設  
2021年4月完成予定／総工費：約90億円

### 自動車計測ラボ

- ✓ バッテリー・燃料電池評価装置、シャシーダイナモ、駆動系評価装置などを導入
- ✓ 車両と実機、シミュレーションを自在に組み合わせた試験を可能に

### 科学分析アプリケーションセンター

- ✓ 中国の新エネルギー開発拠点に立地するメリットを活用
- ✓ 大学や企業とのアプリケーションの開発などを行う

### 生産工場

- ✓ 生産のローカリゼーション、ガス・水質モニタリング装置の供給体制強化
- ✓ 半導体事業では中国市場向けに生産する体制を整備

### テクニカルセンター

- ✓ 製品導入からアフターサービスまで、製品ライフサイクルに応じたサービスを提供

中国市場でのさらなるビジネス拡大をめざす

# “Super Dream Team”で「おもしろおかしく」を体現

## 新たな価値を創り、強いHORIBAを実現するための活動

### ブラックジャックプロジェクト

多品種少量・グローバルビジネスの基盤



BLACKJACK

全グループへのさらなる浸透

最前線(フロントライン)と  
マネジメントの距離を縮める

【ブラックジャックプロジェクト】  
従業員の意識と行動の変革」を目的として  
1997年から開始したHORIBA独自の業務改善活動

真にフラットなオペレーションをめざす

### ステンドグラスプロジェクト

経営戦略としてのダイバーシティ推進

「働きがい」と「働きやすさ」を同時に実現するための  
意識と行動の改革を促す

経営視点で考える従業員の健康管理

経営トップによる  
「こころとからだの健康づくり宣言」  
を發布し、様々な活動を実施



【施策の一例】  
食を通じた健康  
管理・増進活動  
を推進

生産性向上、企業競争力に

ESG投資の視点からも高い評価

# 説明内容

- 2019年12月期 決算概要
- 2020年12月期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- MLMAP2023進捗
- **株主還元**
- その他トピックス

# 株主還元政策

## 基本的な考え方

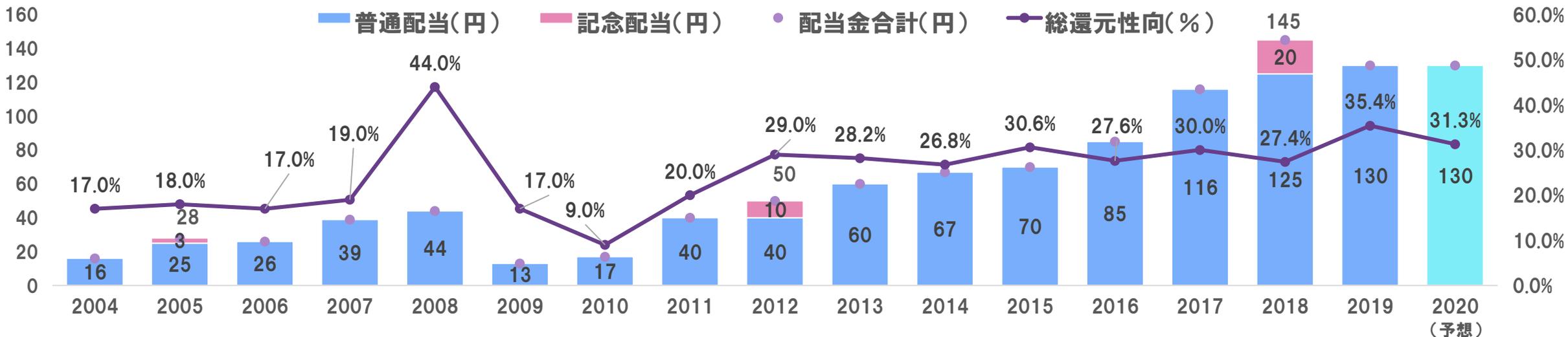
- 配当金＋自己株式取得 = 連結純利益×30% を目処
- 残りは戦略的投資資金として内部留保(設備投資・M&Aなど)

## 配当金及び自己株式の取得

- 2018年実績 145円 [中間 50円、期末 95円]
- 2019年実績 130円 [中間 50円、期末 80円]
- 2020年予想 130円 [中間 50円、期末 80円]

普通配当125円  
創立65周年記念配当20円

## 2004年からの配当推移



# 説明内容

- 2019年12月期 決算概要
- 2020年12月期 業績予想
- セグメント別詳細説明
- MLMAP2023進捗
- 株主還元
- **その他トピックス**

# コア技術の拡充と社会貢献

## 英国物理学会(Institute of Physics) Business Innovation Award ホリバ・ジョバンイボンIBH社(英国)が受賞



- 蛍光寿命顕微鏡カメラ FLIMERAの開発で受賞
- 共同開発を行ったプロジェクト関係者:エジンバラ大学・ヘンダーソン教授、ストラスクライド大学・バーチ教授(写真後列左より3人目、前列左より3人目)、ほか

### Institute of Physics Business Innovation Award

物理学の応用で優れたイノベーションを実現した企業を表彰



#### 蛍光寿命顕微鏡カメラ FLIMERA

- ✓ バイオ・ライフサイエンスの分野で生細胞の観察に応用できる技術

## SAE/InterRegs Standards & Regulations Award 2020 ホリバ・インスツルメンツ社(米国)の モンタジュール・ラーマンが受賞



- モンタジュール・ラーマン(写真中央)は日本の大学で博士号を取得
- 技術者として長年、排ガス規制策定へ貢献したことが今回、表彰された

### SAE/InterRegs Standards & Regulations Award

規制や業界ルールの策定に携わり、貢献した技術者を顕彰する賞

- SAE (Society of Automotive Engineers) :モビリティ専門家を会員とする米国の非営利団体
- InterRegs:車の安全や排ガス規制に関する情報を収集し、オンラインで発信するサービスを提供する英国の団体

ご清聴ありがとうございました。

Omoshiro-okashiku  
Joy and Fun



Danke

Grazie

Tack ska du ha

ありがとうございました

Dziękuję

Gracias

Σας ευχαριστώ πάρα πολύ

**THANK YOU**

ขอบคุณครับ

Obrigado

Большое спасибо

Cảm ơn

Merci

감사합니다

நன்றி

Terima kasih

谢谢

धन्यवाद

شُكْرًا